

22

(日)

驚きによる賛美

詩編八編

人とは何者なのか、あなたが心に留めるとは。人の子とは何者なのか、あなたが顧みるとは。(5)

神の創造のみわざに目を留め、神の偉大さをほめたたえたダビデは、一転して、その目を自分に向けます。巨大な宇宙に比べると、自分は何と小さな存在であることかと、人間の小ささに驚きます。けれどもそこで、最も大きな驚きの発見をします。天地の造り主なる神が、この小さな私に目を留めておられるという事実です。今日の聖句には、「とても信じられない」というダビデの驚きと感動が込められています。「顧みる」とは、失われたものを注意深く捜し求める姿を表しています。塵のようにどこかに消えてしまいそうな私たち一人ひとりを、天の神が顧みておられるとは何ということでしょう。この事実には、誰が驚かずにいられるでしょうか。今日、その主に招かれて礼拝を献げます。主が顧みていてくださる尊い存在として、喜びと感謝をもって主の御前に集おうではありませんか。